

すわみつえ通信

No.145 2020年10月19日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

ネット署名はこちらから

<http://chnq.it/xV9q9Mhm2R>



QRコード

「笠原小学校を守り育てる会」が、鴻巣市長宛の『笠原小学校存続の要望署名』と議長宛の『請願署名』の二つの署名活動に取り組んでいます。

明治5年の学制発布の年に開校し、147年もの歴史を持つ、地域になくてはならない小学校です。何よりも、「コロナ禍において分散登校をしながらよい、少人数学級の小規模校です。

子どもたち一人ひとりに行き届いた教育が行われ、教育者は「教育の原点をみるようだ」と評している学校です。児童数の減少を理由に廃校にしてはならないと思います。

署名へのご協力を是非お願い致します。署名にご協力いただける方は、恐れ入りますがご連絡をお願い致します。

また、市長宛の『要望署名』はインターネットにて署名ができます。鴻巣市外の方も有効ですので、よろしくお願い致します。

笠原小学校存続のため
の署名にご協力を！

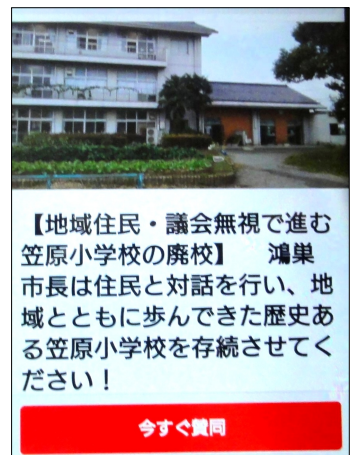
野党連合政権で新しい
政治をつくらう

コロナ後の新しい社会
をつくる日本共産党の
「7つの提案」

菅政権が発足してから1か月が過ぎました。日本学術会議への人事介入にみられるように、安倍政権以上の強権政治です。新型「コロナ危機」でつけない困難に直面している国民に「自助共助公助」と語り、「自己責任」を押し付ける冷たい姿勢もあらわになっています。

日本共産党は野党連合政権を発足して、新しい社会をつくるために次の7つの提案をしています。

1. 医療・介護・障害福祉・保育など「ケア」に手厚い社会をつくりまします。
2. 正社員が当たり前、8時間働けばふつうにくらせる社会へ「人間らしく働ける労働のルール」をつくりまします。



【地域住民・議会無視で進む
笠原小学校の廃校】 鴻巣市長は住民と対話を行い、地域とともに歩んできた歴史ある笠原小学校を存続させてください！

今すぐ賛同

ネット署名＝スマホ画面

赤見台での宣伝行動



赤見台3丁目宣伝＝すわみつえ市議

3. 「少人数学級」や学費半減で「一人ひとりの学びを保障する社会」をつくりまします。
4. 内需と家計、中小企業を経済政策の軸にすえ、「危機にゆとりをもつて対応できる強い経済」をつくりまします。
5. 感染防止策などで「科学を尊重し、国民に信頼される政治」をつくりまします。
6. 学問の自由を守り、予算の増額で「文化・芸術を大切にす国」をつくりまします。
7. あらゆる差別をなくし「ジェンダー平等社会」をつくりまします。

俳句コーナー

残照に影絵を描く
ススキかな

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

日本学術会議の任命を拒否された早稲田大教授 岡田正則さん



撮影・野間あきら記者

菅義偉首相は、日本学術会議が推薦した次期会員候補のうち、6人の任命を拒否しました。拒否された当事者の一人、岡田正則・早稲田大教授に聞きました。

日本学術会議は、学者の英知を集めて、さまざまな問題で政府に「勧告・提言」する。勧告・提言される側の行政が、人事を左右することはあっては「勧告・提言」しにくいことです。

学術会議が政府から「独立」しているのは、科学が戦前、軍事利用されたことへの反省からです。時の政府の思惑で、独立性が喪失するようないことがあっては、将来の世代への大きな負の遺産になる。

学術会議が「イエスマン」ばかりでは、政権自身が「裸の王様」になってしまいます。政府は任命拒否の理由を明らかにし、6人を任命すべきです。

「見ていない」(9日)

しんぶん赤旗 日曜版
10月7・18日号

首相が「名簿見ていない」は違法

説明責任をかけ悪化

しんぶん赤旗
10月18日付

安倍政権であぶりだされたのは、権力は不都合を隠すことです。森友学園問題では公文書を改ざんし、携わった職員は命を絶つまで追い詰められました。結果責任だけでなく説明責任すら果たさない7

年8カ月でした。

説明責任という点では菅政権は「継承」というより輪をかけて悪化しましたね。日本学術会議問題では、都合が悪い質問がとぶ記者会見を極力なくすということが露呈しま

フォトジャーナリスト
安田 菜津紀さん

した。会見せずにやるのはパレンキー懇親会、そしてグリープインタビューです。特定の3社だけが質問して、常勤幹事社以外は別室で傍聴するという「会見」と呼べない不思議な催しです。正確な報道

「拷問にあたる」と再三勧告を受けましたが、安倍政権は改善しませんでした。菅政権は難民問題に向き合わなければ、日本は人権国家として国際社会に加われないでしょう。

自民党の杉田水脈議員の「女性はいくらでもうそをつけます」発言には怒りがこみあげました。口頭注意で済ます自民党は「これぐらい踏み

私にはシリアなどで難民を取材しています。シリアは国中の交戦はなくなりましたが、政権による弾圧は続き、家の周囲が地雷だらけで難民が帰還できない場所もあります。難民問題は長期的に見なければなりません。

日本は難民認定率が1%以下と難民に冷たい国です。入管施設で外国人を長期間収容している問題では国連から

流れ
かえよう

(提供写真)

やすだ・なつき 1987年神奈川県生まれ。NPO法人ダイアログフォーピープル(D4P)所属フォトジャーナリスト。16歳で「国境なき子どもたち」友情のレポーターでカンボジアを取材。テレビのコメンテーターとしても活躍中。

聞き手・斎藤和紀

加藤長官が「チャーハン論法」 学術会議任命拒否の説明 上西法政大教授が批判

閣僚や官僚の意図的な論点のすり替えを「ご飯論法」と名付けた法政大学の上西充子教授は10月8日、自身のツイッターで、菅義偉首相が日本学術会議の会員候補の任命を拒否した問題をめぐり、過去の国会答弁との食い違いはないとする加藤勝信官房長官の説明をチャーハンに例えて批判しました。上西氏は、加藤氏の記者会見の動画と並べて「エビチャーハンを作っていたのを玉子チャーハンに変えましたよね、という質問に対し、同じシェフが作っておりその点においてなんら変わりはない、と言っているようなもの」と表現し、加藤氏の論理のすり替えを批判しました。 しんぶん赤旗 10月10日付